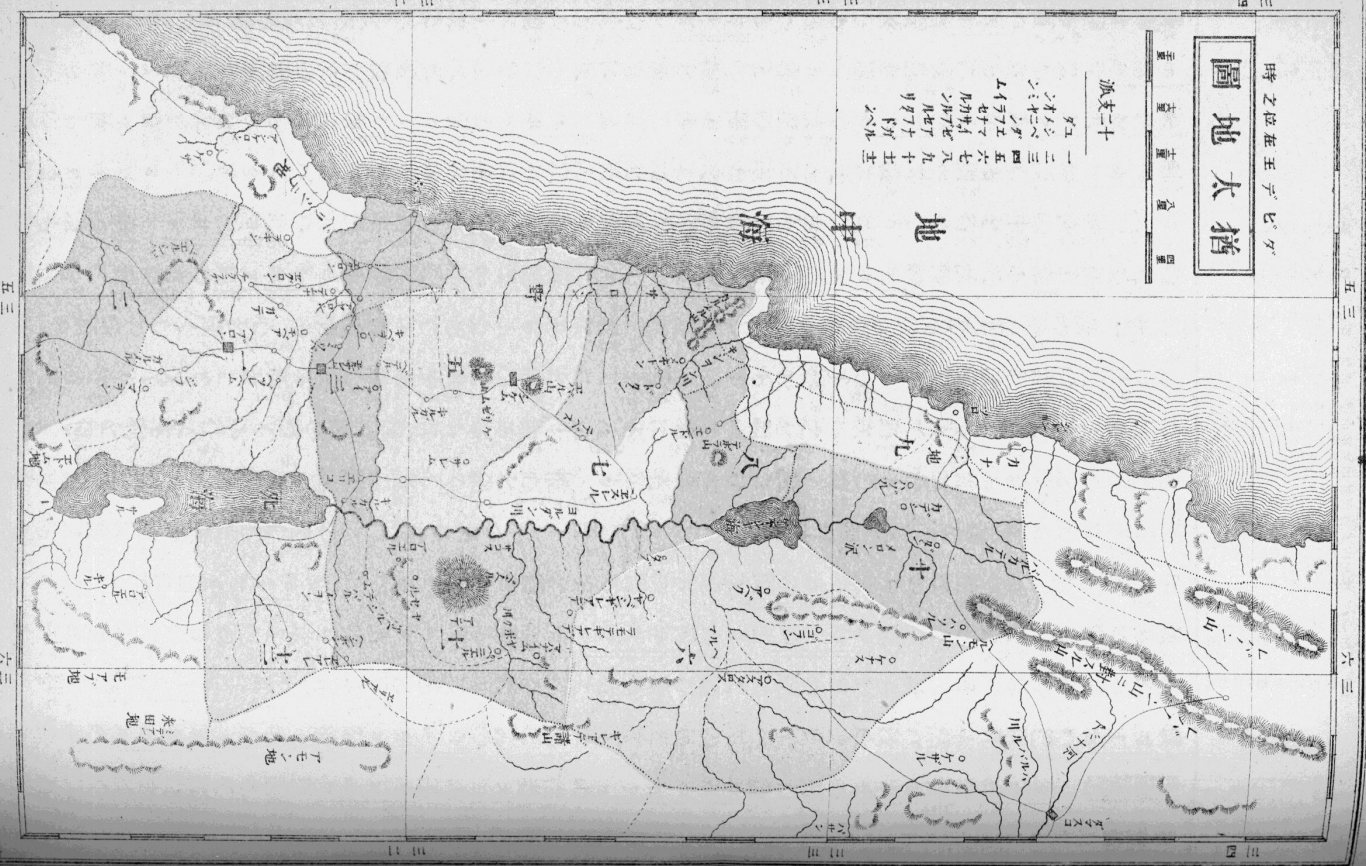


時之位在王デビダ  
猶太地圖

派支二十  
一 二三四五六七八九十  
十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十



申命記  
第三十四章  
自九至十二節  
三百五十八

に聖泣を赤しけるがモーセのために哭き衰しむ日つひお漏り 九 ヌの子ヨシエアハ心に智慧の充る者なり  
りモーセの手をさき上にあはせたるによりて然るありイスラエルの子孫ハ之を聴きたがひエホバのモー  
セに命じたまひし如くおこさへり 一イスラエルの中への後モーセのごとき預言者塔てらざりきモ  
セハエホバが面を對せて知たなる者なりき 十 即ちエホバがエシラトの地においてかれをバロの臣下  
どのの至地とにつかはして諸の徴蹟を奇蹟を行はせたまへり 十一 またイスラエルの一切の人の目の前  
モセの大きな能力をあらはし大なる畏るべき事を行へり  
申命記終

一 エホバの僕モーセの死し後エホバモーセの従者マツの子ヨシエに語りて言たまはく  
 二 僕モーセに死し然らば汝は此すべての民どもに起てよのヨルダンを渡り我がイスラエルの子孫を  
 三 興ふる地おゆけ凡そ汝らが足の跡にて踏む所我れを盡く汝らに興ふ我れ前にモーセに語り如し  
 四 汝らの疆界の荒野および此レバノンより大河コフラク河に至りて三人の全地を包ね日の没る方の大海  
 五 に及ぶ汝が生ながらる日の間なんぢに當る事を得る人なかるべし我れモーセと偕に在しむと  
 六 汝と偕にあらん我れなんぢを離れず汝を棄し心を強くしかつ勇め汝がこの民をして我が之に興ふる  
 七 ことをの先祖等も誓ひたりし地を獲しむべき者なり惟心を強くし勇み闘なで我れ僕モーセの汝に命ぜし  
 八 律法をことごとく守りて行なへ之を離れて右にも左にも曲るなれば然らば汝は行くも往ても利を得べし  
 九 この律法の書を汝の口より離すべからず夜も晝もこれを念ひて其中を録したる所をことごとく守りて行  
 十 へ然らば汝の途福利を得汝のならず勝利を得べし我れなんぢを命ぜしおわらまや心を強くしかつ勇め汝  
 十一 の凡て往く處わて汝の神エホバ偕在せしを懼るゝ勿れ戦慄なかれ○茲おヨシエの民の有司等に命じて  
 十二 言ふ陣營の中を行ゆり民に命じて言へ汝等糧食を備へよ三日の内お汝ら此ヨルダンを渡り汝らの  
 十三 神エホバが汝らお興へて獲させんとまた汝ら地を獲んために進みゆくべし汝らなり○ヨシエアまた  
 十四 ルベンガヤ人およびマナセの支派の半お告て言ふエホバの僕モーセ前に汝らに命じて語り汝らの神  
 十五 エホバ今なんぢらに安息を賜へり亦この地を汝らに興へたまふべし汝らこの言詞を記念よ汝らの妻  
 十六 子および家畜ハモーセの汝らお興へしヨルダンの此旁の地に止まるべし然らば汝ら勇者の皆身をよらひ

一 申三〇六  
 二 申三〇七  
 三 申三〇八  
 四 申三〇九  
 五 申三一〇  
 六 申三一〇  
 七 申三一〇  
 八 申三一〇  
 九 申三一〇  
 十 申三一〇  
 十一 申三一〇  
 十二 申三一〇  
 十三 申三一〇  
 十四 申三一〇  
 十五 申三一〇  
 十六 申三一〇  
 十七 申三一〇  
 十八 申三一〇  
 十九 申三一〇  
 二十 申三一〇  
 二十一 申三一〇  
 二十二 申三一〇  
 二十三 申三一〇  
 二十四 申三一〇  
 二十五 申三一〇  
 二十六 申三一〇  
 二十七 申三一〇  
 二十八 申三一〇  
 二十九 申三一〇  
 三十 申三一〇  
 三十一 申三一〇  
 三十二 申三一〇  
 三十三 申三一〇  
 三十四 申三一〇  
 三十五 申三一〇  
 三十六 申三一〇  
 三十七 申三一〇  
 三十八 申三一〇  
 三十九 申三一〇  
 四十 申三一〇  
 四十一 申三一〇  
 四十二 申三一〇  
 四十三 申三一〇  
 四十四 申三一〇  
 四十五 申三一〇  
 四十六 申三一〇  
 四十七 申三一〇  
 四十八 申三一〇  
 四十九 申三一〇  
 五十 申三一〇

て兄弟等の先わたら進濟りて之を助けよ、而してエホバが汝らに賜ひし如く、なんぢらの兄弟等にも安息を賜ふおぼよき、又おれらもなんぢらの神エホバの與へたるふ地を獲得するおよむ、汝らエホバの僕モ、セヨリ與へられしヨルダンの此旁目の出る方ある已が所有の地を還りてこれを保つべし、彼らヨシエ、アお應て言ふ汝が我儕お命ぜし所、我儕盡く爲べし、凡て汝が我ら遣す處へ、我ら往べし、我ら一切の事モ、いせお聽たふひし如く、亦かたに聽えたるがば、なんぢの神エホバモ、いせお借ひの、し、で、とく汝と借手在さん、とを、誰もおもれ、汝が命令に背き、凡て汝が命するところの言を聽たがはざる者から、なんぢ之を殺すべし、唯、なんぢ心強く、し、かつ勇め、

**第 三 節** 茲ハ、ヨシエの子ヨシエ、ヨシエより、澗ハ、二、人の間者を發し、之をひける、往て、かの地、ヨシエ、ヨシエを、窺ハ、探れ、乃ち、彼ら、往て、燒燬、ヨシエ、と名づく、る者、の家、入て、其處に、懸ける、が、或人、ヨシエ、の、王、が、告て、禱、ヨシエ、の、子孫、の、者、の、地、を、探ら、ん、と、て、今、膏て、し、お、入、きた、れ、り、と、い、ふ、是、を、辨て、ヨシエ、の、王、ヲ、シ、ア、ハ、に、言、つ、か、は、し、け、る、ハ、汝、お、き、た、り、て、汝、の家、お、入、し、人、を、曳、ひ、だ、せ、彼、ら、ハ、此、全、國、を、探、ら、ん、と、て、來、れ、る、乃、ち、屬、人、か、の、よ、た、り、の、人、を、擲て、之、を、墜し、而、して、言、ふ、實、者、の、人、々、ハ、お、許、す、來、れ、り、然、れ、ど、我、ら、の、何、處、よ、り、か、知、り、し、じ、ぶ、黃、昏、ど、き、門、を、閉、る、こ、ろ、に、出、さ、れ、り、我、ら、の、人、々、の、何、處、へ、往、し、か、を、知、す、急、ぎ、の、後、を、追、入、然、バ、之、お、退、返、れ、ん、と、の、實、ハ、婦、す、で、お、か、れ、ら、を、領て、屋、蓋、に、升、り、屋、蓋、の、上、お、列、べ、お、きた、る、床、の、か、か、を、之、を、お、く、し、じ、あり、か、て、の、人、々、彼、ら、の、後、を、追、ハ、ヨシエ、の、路、を、ゆ、き、て、渡、場、お、越、け、り、か、れ、ら、の、後、を、退、入、者、出、る、や、直、お、門、を、閉、し、ぬ、二、人、の、も、の、未、だ、發、す、ラ、ハ、シ、屋、脊、に、上、り、て、彼、ら、の、も、の、に、來、り、これ、お、言、ひ、け、る、ハ、エ、ホ、バ、の、地、を、汝、ら、に、賜、へ、り、我、ら、ハ、甚、く、汝、ら、を、懼、る、此、地、の、民、盡、く、汝、ら、の、前、に、消、亡、ん、我、の、事、

ヨシエの子ヨシエ、ヨシエより、澗ハ、二、人の間者を發し、之をひける、往て、かの地、ヨシエ、ヨシエを、窺ハ、探れ、乃ち、彼ら、往て、燒燬、ヨシエ、と名づく、る者、の家、入て、其處に、懸ける、が、或人、ヨシエ、の、王、が、告て、禱、ヨシエ、の、子孫、の、者、の、地、を、探ら、ん、と、て、今、膏て、し、お、入、きた、れ、り、と、い、ふ、是、を、辨て、ヨシエ、の、王、ヲ、シ、ア、ハ、に、言、つ、か、は、し、け、る、ハ、汝、お、き、た、り、て、汝、の家、お、入、し、人、を、曳、ひ、だ、せ、彼、ら、ハ、此、全、國、を、探、ら、ん、と、て、來、れ、る、乃、ち、屬、人、か、の、よ、た、り、の、人、を、擲て、之、を、墜し、而、して、言、ふ、實、者、の、人、々、ハ、お、許、す、來、れ、り、然、れ、ど、我、ら、の、何、處、よ、り、か、知、り、し、じ、ぶ、黃、昏、ど、き、門、を、閉、る、こ、ろ、に、出、さ、れ、り、我、ら、の、人、々、の、何、處、へ、往、し、か、を、知、す、急、ぎ、の、後、を、追、入、然、バ、之、お、退、返、れ、ん、と、の、實、ハ、婦、す、で、お、か、れ、ら、を、領て、屋、蓋、に、升、り、屋、蓋、の、上、お、列、べ、お、きた、る、床、の、か、か、を、之、を、お、く、し、じ、あり、か、て、の、人、々、彼、ら、の、後、を、追、ハ、ヨシエ、の、路、を、ゆ、き、て、渡、場、お、越、け、り、か、れ、ら、の、後、を、退、入、者、出、る、や、直、お、門、を、閉、し、ぬ、二、人、の、も、の、未、だ、發、す、ラ、ハ、シ、屋、脊、に、上、り、て、彼、ら、の、も、の、に、來、り、これ、お、言、ひ、け、る、ハ、エ、ホ、バ、の、地、を、汝、ら、に、賜、へ、り、我、ら、ハ、甚、く、汝、ら、を、懼、る、此、地、の、民、盡、く、汝、ら、の、前、に、消、亡、ん、我、の、事、

を知る、其ハ、汝ら、シ、エ、ホ、バ、ト、より、出、來、し、時、エ、ホ、バ、ハ、なん、ぢ、ら、の、前、に、て、短、海、の、水、を、乾、た、ま、し、事、お、よ、び、汝、ら、が、ヨ、ル、ダ、ン、の、彼、旁、に、あ、り、し、エ、ホ、バ、の、二、箇、の、王、シ、ホ、ン、と、オ、ガ、と、お、な、し、こ、の、と、即、ち、こ、の、と、く、之、を、滅、ぼ、し、た、り、し、こ、の、と、を、我、ら、開、た、れ、バ、な、り、我、ら、之、を、開、や、心、忝、け、な、ん、ぢ、ら、の、故、に、よ、り、て、人、の、魂、き、え、う、せ、た、り、故、ら、の、神、エ、ホ、バ、ハ、上、の、天、に、も、下、の、地、お、も、神、た、る、お、あ、り、然、ハ、請、ふ、我、ら、に、汝、ら、に、恩、を、施、し、た、れ、バ、汝、ら、も、今、エ、ホ、バ、を、指、て、我、父、の、家、に、恩、を、施、せ、さ、ん、と、を、誓、ひ、て、我、に、眞、實、の、記、號、を、與、へ、よ、又、わ、が、父、弟、兄、弟、列、妹、ら、も、よ、び、凡、て、彼、ら、に、屬、る、者、を、な、ら、し、め、我、ら、の、生、命、を、拯、ひ、て、死、を、免、れ、し、め、ん、と、を、誓、へ、よ、二、人、の、も、の、これ、に、言、ひ、け、る、ハ、汝、ら、若、し、わ、れ、ら、の、此、事、を、洩、す、と、な、く、バ、我、ら、の、生、命、故、ら、に、代、り、て、死、ん、だ、エ、ホ、バ、わ、れ、ら、に、此、地、を、與、へ、た、ま、ふ、時、に、我、ら、お、な、ち、に、恩、を、施、し、眞、實、を、盡、さ、ん、是、に、お、い、て、ラ、ハ、シ、繩、を、も、て、彼、ら、を、怒、り、繩、か、つ、せ、り、是、ハ、其、家、邑、の、石、垣、の、上、お、あ、り、て、か、れ、石、垣、の、上、に、住、し、に、よ、る、ラ、ハ、シ、か、れ、ら、に、言、ひ、け、る、ハ、恐、ら、く、ハ、退、者、な、ん、ぢ、ら、に、遇、ん、汝、ら、山、に、往、て、三、日、お、開、く、こ、に、應、れ、り、退、者、の、還、る、を、待、て、後、去、ゆ、く、べ、し、二、人、の、も、の、か、れ、お、言、ひ、け、る、ハ、汝、が、我、ら、に、誓、え、し、此、誓、に、つ、き、て、我、ら、罪、を、獲、し、我、ら、が、此、地、に、打、ひ、ら、ん、時、汝、我、ら、を、縱、お、ろ、し、た、り、し、し、窓、に、此、一、條、の、赤、き、繩、を、結、つ、け、且、つ、汝、の、父、母、兄、弟、お、よ、び、汝、の、父、の、家、の、眷、族、を、惡、く、汝、の、家、に、聚、ひ、べ、し、凡、て、汝、の、家、の、門、を、出、て、街、衢、に、來、る、者、は、の、血、自、身、の、首、に、歸、す、べ、し、我、ら、は、罪、な、し、然、れ、ど、も、し、汝、と、よ、お、お、家、に、を、る、者、に、手、を、く、は、ぶ、る、こ、と、を、せ、べ、し、の、血、ハ、我、ら、の、首、に、歸、す、べ、し、將、た、汝、も、し、我、ら、の、こ、の、事、を、洩、さ、バ、汝、が、我、ら、に、誓、せ、た、る、書、に、我、ら、お、あ、つ、か、る、こ、と、お、し、ラ、ハ、シ、ひ、ひ、け、る、ハ、な、ん、ぢ、ら、の、言、の、こ、と、く、す、べ、し、と、斯、て、か、れ、ら、を、出、し、去、ま、め、て、赤、き、繩、を、懸、お、結、べ、り、か、れ、ら、往、て、山、に、い、り、追、來、る、も、の、く、か、へ、る、を、待、て、三、日、の、間、う、こ、に、居、れ、り、お、ひ、來、れ、る、も、の、偏、ぬ、く、彼、ら、を、途、お、尋、ぬ、し、か、ど、も、縱、お、獲、さ、り、き、而、し、て、か、の、二、箇、の、人、ハ、山、を、下、

ヨシエの子ヨシエ、ヨシエより、澗ハ、二、人の間者を發し、之をひける、往て、かの地、ヨシエ、ヨシエを、窺ハ、探れ、乃ち、彼ら、往て、燒燬、ヨシエ、と名づく、る者、の家、入て、其處に、懸ける、が、或人、ヨシエ、の、王、が、告て、禱、ヨシエ、の、子孫、の、者、の、地、を、探ら、ん、と、て、今、膏て、し、お、入、きた、れ、り、と、い、ふ、是、を、辨て、ヨシエ、の、王、ヲ、シ、ア、ハ、に、言、つ、か、は、し、け、る、ハ、汝、お、き、た、り、て、汝、の家、お、入、し、人、を、曳、ひ、だ、せ、彼、ら、ハ、此、全、國、を、探、ら、ん、と、て、來、れ、る、乃、ち、屬、人、か、の、よ、た、り、の、人、を、擲て、之、を、墜し、而、して、言、ふ、實、者、の、人、々、ハ、お、許、す、來、れ、り、然、れ、ど、我、ら、の、何、處、よ、り、か、知、り、し、じ、ぶ、黃、昏、ど、き、門、を、閉、る、こ、ろ、に、出、さ、れ、り、我、ら、の、人、々、の、何、處、へ、往、し、か、を、知、す、急、ぎ、の、後、を、追、入、然、バ、之、お、退、返、れ、ん、と、の、實、ハ、婦、す、で、お、か、れ、ら、を、領て、屋、蓋、に、升、り、屋、蓋、の、上、お、列、べ、お、きた、る、床、の、か、か、を、之、を、お、く、し、じ、あり、か、て、の、人、々、彼、ら、の、後、を、追、ハ、ヨシエ、の、路、を、ゆ、き、て、渡、場、お、越、け、り、か、れ、ら、の、後、を、退、入、者、出、る、や、直、お、門、を、閉、し、ぬ、二、人、の、も、の、未、だ、發、す、ラ、ハ、シ、屋、脊、に、上、り、て、彼、ら、の、も、の、に、來、り、これ、お、言、ひ、け、る、ハ、エ、ホ、バ、の、地、を、汝、ら、に、賜、へ、り、我、ら、ハ、甚、く、汝、ら、を、懼、る、此、地、の、民、盡、く、汝、ら、の、前、に、消、亡、ん、我、の、事、

この國をどくく我らの手お付したまへりこの國の民は皆我らの前か消らせん

り河を濟りて歸りて子ヨシヤお詣りて其有し事等をつぶさお陳ふ またヨシヤにいふ誠にエホ

バの國をどくく我らの手お付したまへりこの國の民は皆我らの前か消らせん

ヨシヤ朝はやく起いでいすイラエルの人々を起しにシラヤを打發てヨルダにゆき之を

濟らして其處に宿りぬ 斯て三日の後有司ら陣營の中をめぐり 民お命じて曰ふ汝ら祭司等レビ人

さんからの神エホバの契約の權を昇出すを見ん其處を發出するの後お從へん されど汝らどのの權どの

間おり量りて凡う二千里に計の隔離あるべし之お近づく勿れ亦んがらその行べき處を知らためなり

汝ら未だこの途を經してどなかりき ヨシヤ答て民お言ふ汝ら身を潔めよエホバ明日なんがらの中

お妙なる事を行ひたまふべし 曰ヨシヤ祭司等お告げていふ契約の權を昇き民お先だちて濟れど即ち契

約の權を昇き民お先だちて進めり エホバヨシヤお言たまひけるに今日よりして我イラエルの衆の

目的汝を尊くし我おモシセと借わあらしめて汝と借わあわること之を之知せん ならんち契約の權を

昇とこの祭司等に命じて言へ汝らヨルダの水際おゆかバヨルダおわひりて立べし 曰ヨシヤイ

ラエルの人々おむかひて汝ら此お近づき汝らの神エホバの言を聴けど 而してヨシヤ語りけらく活神

ななちらの中お在してカナン人ヘテ人ベリシ人ギルガム人アモリ人エブス人汝らの前より必ず

逐はらひたまふべきを左の事によりてななちら知らるべし 麗よ全地の主の契約の權なんがらお先だちて

ヨルダにすぎみ入る 然レバ今イラエルの支派の中より支派おどに一人づゝ合せて十二人を擧げ全

地の主エホバの權を昇とこの祭司等の星の臘ヨルダの水の中お踏とまらバヨルダの水より流

れくだる水きれとまらりてうつだかくならん かくて民ヨルダを濟らんとしてその幕屋を立出祭司

一節一  
二節一  
三節一  
四節一  
五節一  
六節一  
七節一  
八節一  
九節一  
十節一  
十一節一  
十二節一  
十三節一  
十四節一  
十五節一  
十六節一  
十七節一  
十八節一  
十九節一  
二十節一  
二十一節一  
二十二節一  
二十三節一  
二十四節一  
二十五節一  
二十六節一  
二十七節一  
二十八節一  
二十九節一  
三十節一  
三十一節一  
三十二節一  
三十三節一  
三十四節一  
三十五節一  
三十六節一  
三十七節一  
三十八節一  
三十九節一  
四十節一  
四十一節一  
四十二節一  
四十三節一  
四十四節一  
四十五節一  
四十六節一  
四十七節一  
四十八節一  
四十九節一  
五十節一

等ハ契約の權を昇て之に先だちゆく 抑ヨルダの頃おり絶するの岸にどくく溢るるなれ

ど權を昇く者等ヨルダに到り權を昇ける祭司等の足水際に浸ると齊しく上より流れくだる水止まり

て遙か遠き處まで掘れテレバ近きテマ邑の邊まで積み起て堆かくなりテグラバの掘き亦はち鹽海の

方に流れくだる水おつたれバエリコにむかひて直に濟れり 即ちエホバの契約の權を昇る

祭司等ヨルダの中お乾ける地に堅く立をりてイラエル人みな乾ける地を涉りゆき遂に民とどくく

ヨルダを濟りてくせり

民とどくくヨルダを濟りてくしたる時エホバヨシヤに語りて言たまはく 汝ら民の中

より支派おどに一人づゝ合せて十二人を擧げ 此れお命じて言へ汝らヨルダの中祭司等の足を踏め

しもの處より石十二を取わけてこれを負ひ濟り 此夜なんがらお宿る宿場お居えよ 曰ヨシヤすなち

イラエルの人々の中より支派おどお預て一人づゝを取て備へおきぬ、その十二人の者を召よせ 而し

てヨシヤこれに言けるに汝ら神エホバの契約の權の前に當りて汝らヨルダの中おすすみ入りイ

ラエルの人々の支派の數に循ひて各々石おひとつを取わけて肩に負きたれ 是れ汝らの中に徹せたるべし

後の日おいたりて汝らの子孫是等の石に何のこもろありやと問て言へ 之にいへ往昔ヨルダの水エホ

バの契約の權の前にて截斷りたる事を表すなり 則ちそのヨルダを濟れる時にヨルダの水きれ止ま

れりこの故おこれらの石を永くイラエルの人々の記念となるべし 曰イラエルのひとヨシヤ

の命せしめてどく然なれエホバのヨシヤに告たまひし如くイラエルの人々の支派の數にきたりて

ルダの中より石十二を取わけて之を負わたりてその宿る處にいたりて之を其處おすゑたり 曰ヨシヤ

一節一  
二節一  
三節一  
四節一  
五節一  
六節一  
七節一  
八節一  
九節一  
十節一  
十一節一  
十二節一  
十三節一  
十四節一  
十五節一  
十六節一  
十七節一  
十八節一  
十九節一  
二十節一  
二十一節一  
二十二節一  
二十三節一  
二十四節一  
二十五節一  
二十六節一  
二十七節一  
二十八節一  
二十九節一  
三十節一  
三十一節一  
三十二節一  
三十三節一  
三十四節一  
三十五節一  
三十六節一  
三十七節一  
三十八節一  
三十九節一  
四十節一  
四十一節一  
四十二節一  
四十三節一  
四十四節一  
四十五節一  
四十六節一  
四十七節一  
四十八節一  
四十九節一  
五十節一



パヨツエすはちの詩にゆきて之に言ふ汝我儕を問るか將われらの敵を助るか かいひけ  
 るい否われハエホバの軍旅の將として今來れるなりとヨシエ地に備伏て拜し我主なるを僕に告ぐと云  
 たふすやど之に言り エホバの軍旅の將ヨシエに言けるハ汝の履を足より脱され汝が立る處ハ聖き  
 かりとヨシエ然あしぬ

第六節

「イナエルの八々の故によりてエリコハ堅く閉して出入する者なし」 エホバヨシエに言  
 ひたまひけるハ職よわれエリコおよびその王と大勇士とを汝の手に付さん 汝ら軍人みな邑を繞りて邑  
 の周圍を一次まはるべし汝六日の間かく爲よ 祭司等七人おのヨベルの喇叭をたざざして先だ  
 つべし而して第七日に汝ら七次邑をめぐり祭司等喇叭を吹ならすべし 然して祭司等ヨベルの角を音  
 なかくふきならして喇叭の聲もなげらお開ゆる時ハ民みな大に呼ばり喊ぶべし然せばその邑の石垣崩れ  
 おちん民みな直に進て攻のばるべしと マツの子ヨシエやがて祭司等を召て之に言ふ汝ら契約の櫃を  
 早き祭司等七人ヨベルの喇叭をたざざしてエホバの櫃に先だつべしと 而して民に言ふ汝ら進みゆき  
 て邑を繞れ甲冑のものどもエホバの櫃に先だちて進むべしと ヨシエかく民に語りしか七人の祭司  
 等おのヨベルの喇叭をたざざしてエホバに先だちてみりて喇叭を吹きエホバの契約の櫃これにまたが  
 ふ 即ち甲冑のものども喇叭を吹くとその祭司等にさだちて行き後軍ハ櫃の後に行き祭司等  
 喇叭を吹きつすくもり ヨシエ民に命じて言ふ汝ら呼べる勿れ汝らの聲を開えしむるなかれまた汝  
 らの口より言を出すなかれ汝らに呼べと命する日に各よびて呼べるべしと 而してエホバの櫃を  
 もち邑を繞りて一周し陣營に來りて營中に宿れり 又わくる朝ヨシエはやく興いで祭司等エホバの櫃

ノ聖三十四節  
 ノ聖三十五節  
 ノ聖三十六節  
 ノ聖三十七節  
 ノ聖三十八節  
 ノ聖三十九節  
 ノ聖四十節

ノ聖三十一節  
 ノ聖三十二節  
 ノ聖三十三節  
 ノ聖三十四節  
 ノ聖三十五節  
 ノ聖三十六節  
 ノ聖三十七節  
 ノ聖三十八節  
 ノ聖三十九節  
 ノ聖四十節

ノ聖三十一節  
 ノ聖三十二節  
 ノ聖三十三節  
 ノ聖三十四節  
 ノ聖三十五節  
 ノ聖三十六節  
 ノ聖三十七節  
 ノ聖三十八節  
 ノ聖三十九節  
 ノ聖四十節

ノ聖三十一節  
 ノ聖三十二節  
 ノ聖三十三節  
 ノ聖三十四節  
 ノ聖三十五節  
 ノ聖三十六節  
 ノ聖三十七節  
 ノ聖三十八節  
 ノ聖三十九節  
 ノ聖四十節

を早き 七人の祭司等おのヨベルの喇叭をたざざしてエホバの櫃に先だちて行き喇叭を吹きつすく  
 み甲冑の者等にこれに先だちて行き後軍ハエホバの櫃の後に行き祭司等喇叭をきつす進めり 其の次の  
 日にも一次邑を繞りて陣營に歸り六日が間然あせり 第七日に夜明に早く興いで前のごとくして七次  
 邑を繞れり唯この日のみ七次邑を繞りたり 七次目にいたりて祭司等喇叭を吹くとヨシエ民に言  
 ふ汝ら呼べエホバの櫃を汝らに賜へり この邑およびろの中の一の物をも汝らに預るべしと  
 ホバに献ぐべし唯汝らハエホバの櫃を汝らに預るべしと 而して祭司等喇叭を吹きつす進めり 其の次の  
 したればなり 唯汝ら預るべし物も預るべしと 而して祭司等喇叭を吹きつす進めり 其の次の  
 し物も自ら取りてイナエルの陣營をも預るべしと 而して祭司等喇叭を吹きつす進めり 其の次の  
 銀銅器鐵器など凡てエホバに聖別て奉まつるべきものも預るべしと 而して祭司等喇叭を吹きつす進めり 其の次の  
 是において民よばばり祭司喇叭を吹ならしけるが民喇叭の聲をきくと齊しくみな大聲を擧げて呼べりしか  
 石垣崩れおちぬ斯うしか民おの直に邑に上りて邑を攻取り 邑にある者ハ男女少きもの  
 老たるものも區別なく盡くこれに刃にかけて滅ぼし且つ牛羊驢馬にまで及ぼせり 時にヨシエこの地  
 を窺ひたりし二箇の人をむかひ汝らかの汝らかの婦人およびかれに屬る一切のものを携へい  
 だしかれに誓ひし如くせよと言ければ 問者たりし少き人等すかはち入てラハエホバの父母兄弟女  
 らびに彼につけるすべてのものを携へ出したるの親戚をも携へ出しイナエルの陣營の外にかれら  
 置り 斯て火をもて邑の中の一切のものを焚ぬ但し金銀銅器鐵器などエホバの室の府庫に納めたる  
 り 汝らハエホバおよびろの父の家の一族と彼に屬る一切の者などハヨシエこれを生じ存ければハエホバ

ノ聖三十一節  
 ノ聖三十二節  
 ノ聖三十三節  
 ノ聖三十四節  
 ノ聖三十五節  
 ノ聖三十六節  
 ノ聖三十七節  
 ノ聖三十八節  
 ノ聖三十九節  
 ノ聖四十節  
 ノ聖四十一節  
 ノ聖四十二節  
 ノ聖四十三節  
 ノ聖四十四節  
 ノ聖四十五節  
 ノ聖四十六節  
 ノ聖四十七節  
 ノ聖四十八節  
 ノ聖四十九節  
 ノ聖五十節  
 ノ聖五十一節  
 ノ聖五十二節  
 ノ聖五十三節  
 ノ聖五十四節  
 ノ聖五十五節  
 ノ聖五十六節  
 ノ聖五十七節  
 ノ聖五十八節  
 ノ聖五十九節  
 ノ聖六十節  
 ノ聖六十一節  
 ノ聖六十二節  
 ノ聖六十三節  
 ノ聖六十四節  
 ノ聖六十五節  
 ノ聖六十六節  
 ノ聖六十七節  
 ノ聖六十八節  
 ノ聖六十九節  
 ノ聖七十節  
 ノ聖七十一節  
 ノ聖七十二節  
 ノ聖七十三節  
 ノ聖七十四節  
 ノ聖七十五節  
 ノ聖七十六節  
 ノ聖七十七節  
 ノ聖七十八節  
 ノ聖七十九節  
 ノ聖八十節  
 ノ聖八十一節  
 ノ聖八十二節  
 ノ聖八十三節  
 ノ聖八十四節  
 ノ聖八十五節  
 ノ聖八十六節  
 ノ聖八十七節  
 ノ聖八十八節  
 ノ聖八十九節  
 ノ聖九十節  
 ノ聖九十一節  
 ノ聖九十二節  
 ノ聖九十三節  
 ノ聖九十四節  
 ノ聖九十五節  
 ノ聖九十六節  
 ノ聖九十七節  
 ノ聖九十八節  
 ノ聖九十九節  
 ノ聖百節